



2011. 9. 8

# 天理図書館の古典籍目録

天理図書館 岡寫偉久子



# 目次

- 天理図書館の目録の概要  
一般蔵書目録と、特殊文庫・特殊資料目録と
- 天理図書館の古典籍目録の概要
- 『天理図書館稀書目録 和漢書之部』について  
—目録形式とその考え方—
- 『稀書目録』と一般蔵書目録との整合



# 天理図書館の目録

- 一般蔵書…旧来はカード目録、近年では総合目録NACSIS-CATへ登録
  - ※一般蔵書中の貴重書について『稀書目録』を作成（その他、各種テーマ別の大小の目録類）
- 特殊文庫…古義堂文庫目録・吉田文庫目録
  - ・綿屋文庫目録
- 天理教文献…天理教文献目録
- 近世文書…近世文書目録



# 天理図書館の主な古典籍目録

『天理図書館稀書目録 和漢書之部』

第一輯～第五輯

『天理図書館稀書目録 洋書之部』

第一輯～第四輯

『古義堂文庫目録』

『吉田文庫目録』

『綿屋文庫目録』 第一・二輯



# 『天理図書館稀書目録』

## 【目録作成の目的】

簡単には閲覧しがたい貴重書について

- ・ 確実な検索
- ・ 書誌学的研究のための基礎資料の提供

# 『稀書目録 和漢書之部 第五輯』

## — 目録構造について —

### 例 二

古事記写 三卷 「太安麻呂等」撰録 享保十一(一七二六) 「鈴鹿」連重筆 三冊 三三

卷頭「古事記上卷并序」「古事記中(下)卷」 題簽左肩吉田兼雄筆  
「古事記上(中・下)」

奥書(卷上)「享保十一年<sup>丙午</sup>歲四月廿六日書写成就矣／左京亮從五位上中臣朝臣連重(花押)」 (卷中)「享保十一年四月廿六日書写了／左京亮從五位上中臣連重(花押)」 (卷下)「享保十一年四月廿六日書写早／左京亮從五位上中臣連重(花押)」

袋綴 薄茶色表紙 二七・四糎二〇・一糎 八行十五字小双行

三卷 三冊 <一> 卷上六十八丁 <二> 卷中七十二丁 <三> 卷下四十九丁

連重本 句読朱点・声点・接統符・返点・傍訓を施す 『先代舊事本紀』(三三)・『日本書紀』(三八)と同一箱に所収、同箱蓋裏に「三部本書／全部四十三冊」とあり

印記「尚褻舎藏」

(倉野憲司他編 『校本古事記』 — 参照)

三〇・一七二九

## 標目部 見出し)

古事記写 三卷 [太安麻呂等]撰録  
享保十一(一七三六) [鈴鹿]連重筆 三冊

三二

卷頭「古事記上卷并序」「古事記中(下)卷」 題簽左肩吉田兼雄筆  
「古事記上(中・下)」  
奥書(卷上)「享保十一年<sup>丙午</sup>歲四月廿六日書写成就矣／左京亮從五位上中  
臣朝臣連重(花押)」 (卷中)「享保十一年四月廿六日書写了／左京亮  
從五位上中臣連重(花押)」 (卷下)「享保十一年四月廿六日書写早／  
左京亮從五位上中臣連重(花押)」

## 形態部

## 転写部

袋綴 薄茶色表紙 二七・四纏二〇・一纏 八行十五字小双行  
三卷 三冊 <一> 卷上六十八丁 <二> 卷中七十二丁 <三> 卷下  
四十九丁

## 注記部

連重本 句読朱点・声点・接続符・返点・傍訓を施す 『先代舊事  
本紀』(三三)・『日本書紀』(三八)と同一箱に所収、同箱蓋裏に「三部本  
書／全部四十三冊」とあり

印記「尚褰舎藏」

(倉野憲司他編 『校本古事記』 一参照)

三〇・一七四九



# 『稀書目録』と一般蔵書目録との整合 — 目部（し）の整合 —

古  
事  
記  
写

三卷  
「太安麻呂等」撰録  
享保十一（一七二六）  
「鈴鹿」連重筆  
三冊

標目部  
見出し

VOL:上巻

VOL:中巻

VOL:下巻

GMD:d

YEAR1:1726

CNTRY:

TTL:jpn

TXTL:jpn

TRD:古事記 3巻 / [太安麻呂等]撰録

TRR:コジキ

PUBL:[鈴鹿]連重写

PUBDT:享保11 [1726]

PHYSP:3冊

PHYSS:27.4×20.1cm



# 『稀書目録』と一般蔵書目録との整合 —特に 部について—

## 標目部 見出し

TRD:古事記 3巻 / [太安麻呂等]撰録  
 PUBL:[鈴鹿]連重写  
 PUBDT:享保11 [1726]  
 PHYS:3冊  
 PHYSS:27.4×20.1cm  
 NOTE:和漢古書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成  
 NOTE:写本  
 NOTE:巻頭「古事記上巻并序」「古事記中(下)巻」  
 NOTE:題簽左肩吉田兼雄筆「古事記上(中・下)」  
 NOTE:奥書(上巻)「享保十一丙午歳四月廿六日書写成就矣／左京亮従五位上中臣朝臣連重(花押)」(中・下巻にもほぼ同文の奥書あり)  
 NOTE:連重本  
 NOTE:朱句読点・声点・接続符・返点・傍訓を施す  
 NOTE:丁数: 第1冊: 68丁. 第2冊: 72丁. 第3冊: 49丁  
 NOTE:印記「尚製舎藏」

## 古事記写

三卷 「太安麻呂等」撰録  
 享保十一(一七二六) 「鈴鹿」連重筆 三冊

巻頭「古事記上巻并序」「古事記中(下)巻」 題簽左肩吉田兼雄筆

「古事記上(中・下)」

奥書(巻上)「享保十一丙午歳四月廿六日書写成就矣／左京亮従五位上中

臣朝臣連重(花押)」(巻中)「享保十一年四月廿六日書写了／左京亮

従五位上中臣連重(花押)」(巻下)「享保十一年四月廿六日書写早／

左京亮従五位上中臣連重(花押)」

転写部

# 特に について

## 版本 ( 資料)

- \_\_\_\_\_
- 目
- \_\_\_\_\_ いは \_\_\_\_\_
- し
- \_\_\_\_\_

## 写本 (書 資料)

- \_\_\_\_\_
- 目
- \_\_\_\_\_ いは \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_ 書 \_\_\_\_\_

# 『稀書目録 和漢書之部 第五輯』

## ― 目録構造について ―

### 例二

〔吉利支丹曆〕 写 文禄三(一五九四) はう路人見筆 一帖 三三

奥書「御出生以来千五百九十四年／日域文禄三年端月三日／伴天連  
普留岸鎮様以御本／書写畢／はう路人見(花押)」

折本 共表紙 一五・五纏九・八纏 五乃至六行 一帖 十九折

陰曆による正月一日から十二月二十六日までの祝日表

後半末五折には、切支丹用語二十三の和訳、及び信徒十五名の姓・洗  
礼名を記す 朱または墨による自筆書入多し 見返のクルス絵中に

「御出生以来千五百九十四年」と墨書

箱書(蓋表)「<sup>攝州高槻発見</sup>吉利支丹曆 文禄三年二月三日」 印記「上野藏記」

一六・二一三九(重美)



# 『稀書目録』と一般蔵書目録との整合

TRD:[吉利支丹曆] / はう路人見 [著]  
PUBL:はう路人見 [自筆]  
PUBDT:文禄3 [1594]  
PHYSP:1帖(19折)  
PHYSS:15.5×9.8cm  
NOTE:和漢古書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成  
NOTE:写本  
NOTE:奥書「御出生以来千五百九十四年／日域文禄三年端  
月三日／伴天連普留岸鎮様以御本／書写畢／はう路人  
見（花押）」  
NOTE:内容:陰曆による正月一日から十二月二十六日まで  
の祝日表  
NOTE:後半末五折には、切支丹用語二十三の和訳、及び信  
徒十五名の姓・洗礼名を記す。朱または墨による自筆  
書入多し  
NOTE:折本. 共表紙  
NOTE:印記「上野藏記」

〔吉利支丹曆〕 写 文禄三(一五九四) はう路人見筆 一帖 三六

奥書「御出生以来千五百九十四年／日域文禄三年端月三日／伴天連  
普留岸鎮様以御本／書写畢／はう路人見(花押)」

折本 共表紙 一五・五糰九・八糰 五乃至六行 一帖 十九折  
陰曆による正月一日から十二月二十六日までの祝日表

後半末五折には、切支丹用語二十三の和訳、及び信徒十五名の姓・洗  
礼名を記す 朱または墨による自筆書入多し 見返のクルス絵中に

「御出生以来千五百九十四年」と墨書

箱書(蓋表)「吉利支丹曆」

攝州高槻発見

文禄三年一月三日  
はう路人見自筆

印記「上野藏記」

一九二〇元(重美)